

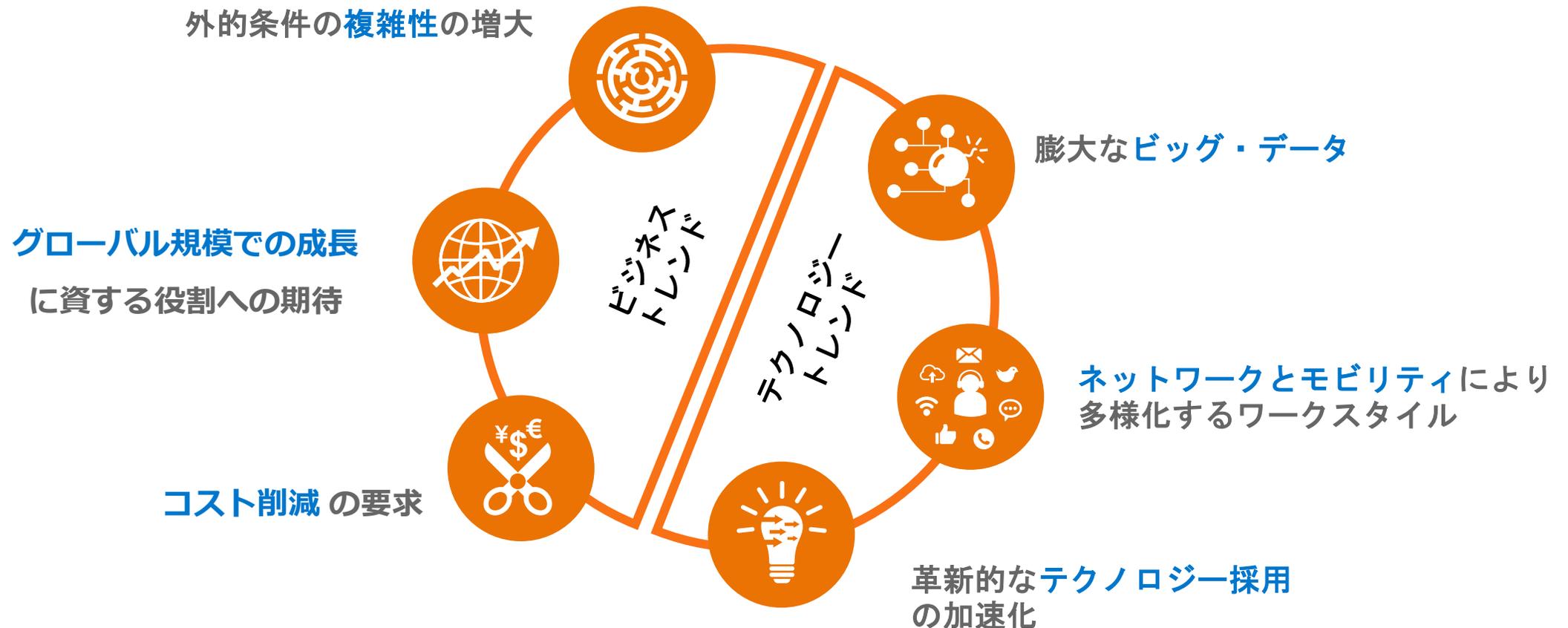
Trust is in the Balance

～次世代統合プラットフォームによる部門業務のモダナイズ～

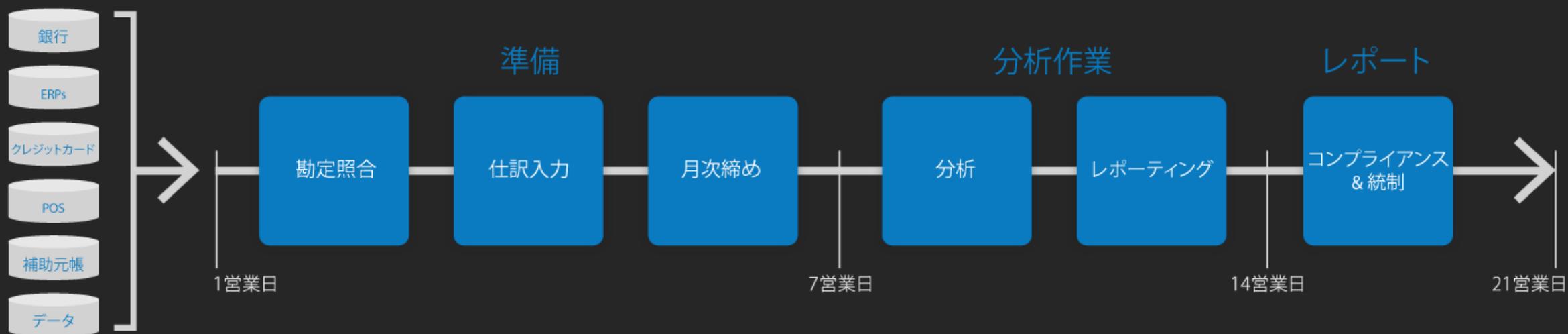
BlackLine APAC オペレーション・ディレクター アン・ファーロング
ウィズリッジ合同会社（BlackLine公認チャネルパートナー）CEO 大山祐之

CFOを取り巻く新たな現実

“ 加速し続けるビジネス環境に適応した対応 ”

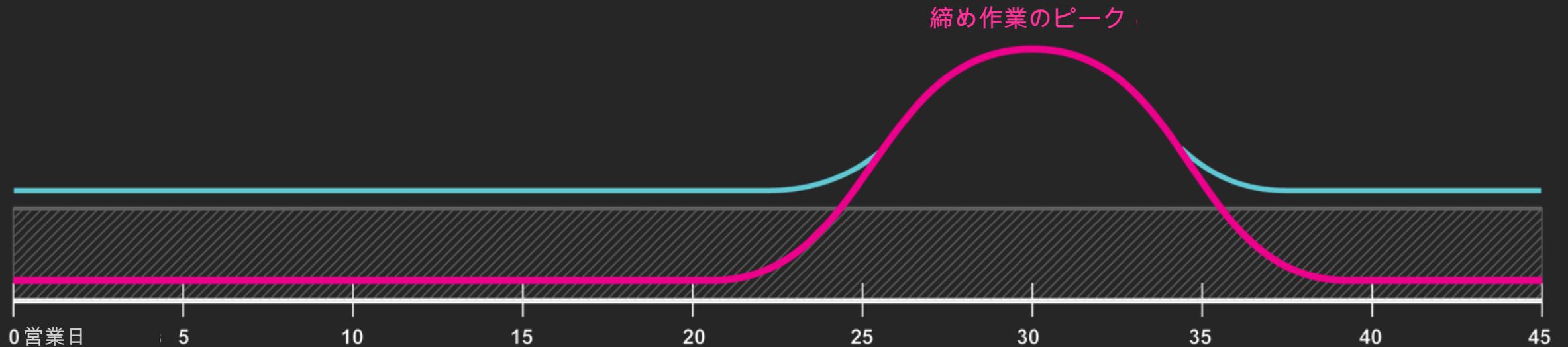


R2R(Record-to-Report)プロセス

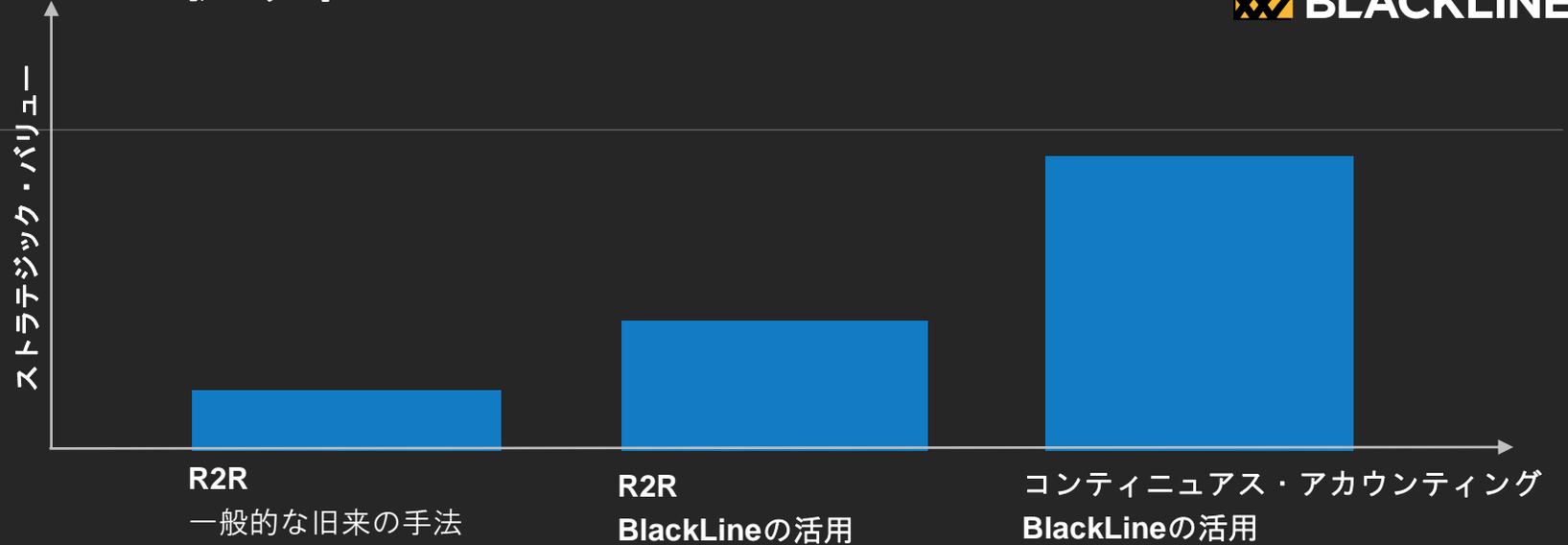


従来のR2R(記録・報告)プロセスによる業務量の推移

-  ビジネス事象の発生
-  締め作業
-  レポーティング & 分析業務



モダン・ファイナンスへの取り組み

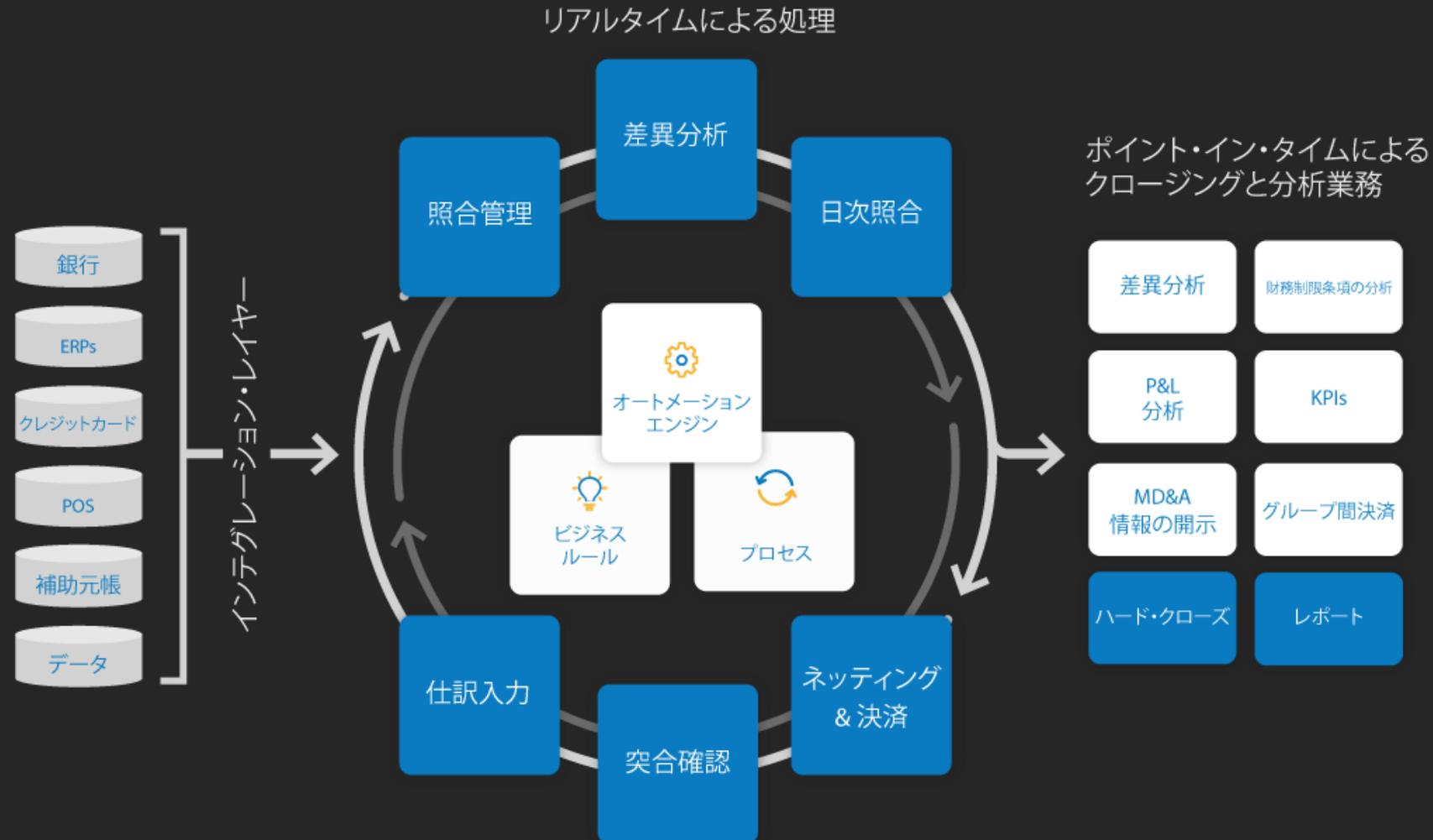


| | | | |
|----------------|------------|----------|-----------------|
| 残高照合・調整作業 | マニュアル（手作業） | 自動化 | 自動化 |
| グループ間の連結・統合処理 | マニュアル（手作業） | 自動化 | 自動化 |
| マニュアルによる作業量 | 膨大 | 50%以上の削減 | 50%以上の削減 |
| 業務の特徴 | 部門タスク中心型 | 部門タスク中心型 | ビジネス中心型 |
| 業務負荷が集中するタイミング | 月末集中型 | 月末集中型 | 月間分散型 |
| レポートの時期 | 月末 | 月末 | ポイント・イン・タイム（即時） |

コンティニューアス・アカウンティングは
旧来の月末集中型の業務を自動化し、内部統制を担保し
つつ日常業務の中に埋め込むことになる。

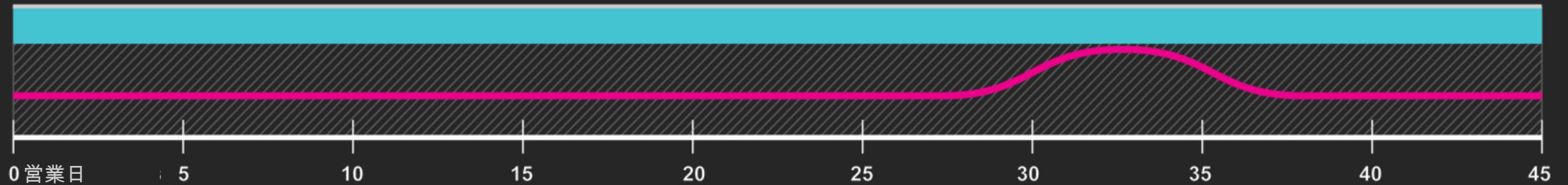
決算スケジュールは、従来の業務手順の都合に即したも
のから、実際のビジネス動向と連動したものになる。

コンティニュアス・アカウンティング



コンティニュアス・アカウンティングによる業務量の推移

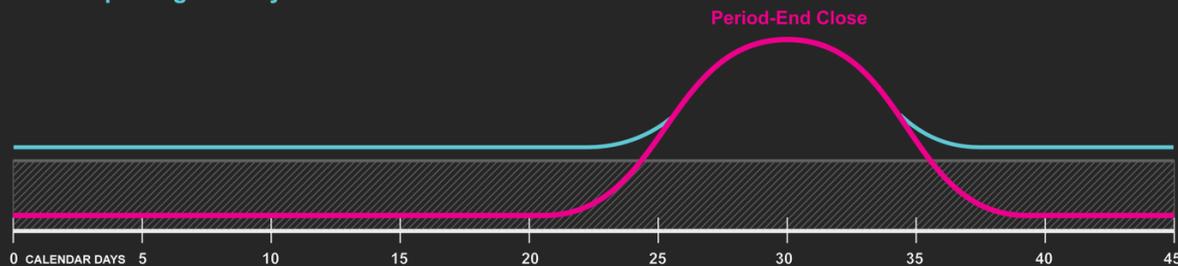
-  ビジネス事象の発生
-  締め作業
-  レポーティング & 分析業務



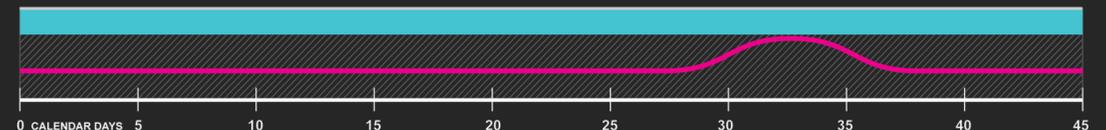
モダン・ファイナンスへの変遷



When Business Happens
 Close Activities
 Reporting & Analysis



When Business Happens
 Close Activities
 Reporting & Analysis



重要な要素



自動化



リアルタイム



データリッチ



高セキュリティ



メトリクス・ドリブン



インテリジェンス



クラウド



継続性

ソリューション



照合管理



決算業務管理



インターカンパニー
ハブ



BlackLine
インサイト

製品

突合処理

勘定照合

連結統合管理
(CIM)

日次照合

仕訳記帳

差異分析

タスク
マネジメント

テクノロジー・プラットフォーム



エンタープライズ・レベルに対応したセキュリティ



より強化されたレポーティング、ダッシュボード、ベンチマーキング、分析作業



統合された、プライベート環境の、ERPに縛られないクラウド・プラットフォーム

経理・財務部門が 直面する課題

増え続ける要求事項



業務の複雑さ
への対応力



コンプライアンス



リアルタイム
な報告



正確性への期待

部門ストレスの要因

69%

が決算業務のプロセスにおけるマニュアル作業の多さが最大のボトルネックであると回答

97%

が現在の人材の中でCFOの期待値に達していると言えるのは、33%に過ぎないと回答

68%

が自部門にとってのセキュリティ・リスクはITプロセス/統制であると感じている

48%

が業務の効果性、モビリティ、クラウド利用を妨げているのは現行のシステム自身であると回答

共通の問題点

- ✓ マニュアル作業
- ✓ 標準化
- ✓ タイムリーな対応

- ✓ 透明性
- ✓ 品質
- ✓ トレーニング

- ✓ 紙ベース
- ✓ 非効率
- ✓ 正確性

コンティニュアス・アカウントティングで 斬新な変革力を



自動化により反復的な経理
作業からの解放



業務量の分散によりボトルネッ
クが低減され、締め作業とレ
ポーティング業務の改善を実現



業務に対する理解を通じて得
られたベンチマーキングを用
いた継続的な改善の実施



トップ・パフォーマー

に見る他社との違い

04

日以上、他より短い決算スケジュール

90%

以上の業務を自動化

46%

監査費用の削減

52%

部門コスト削減

63%

フルタイム社員の削減

24%

フルタイム当量(FTE)の向上

トップ・パフォーマンス

60%

の自動承認



70%

決算早期化



55%

マニュアル作業の
削減



3

営業日のセービング





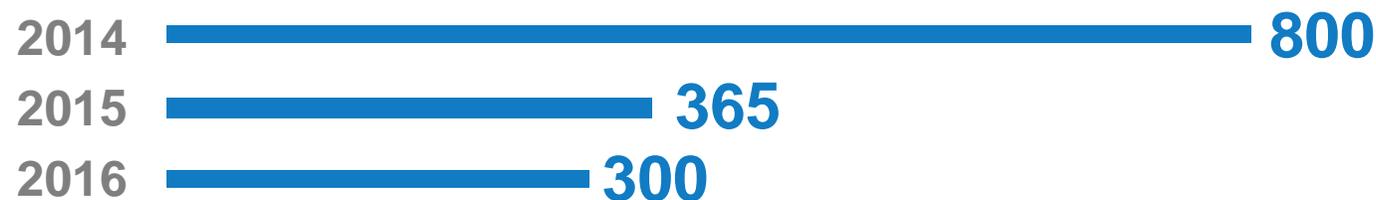
460憶ドル
売上

200
カ国

5万
勘定科目の数

SAP

SAPとBlackLineで コカ・コーラ社をトランスフォーム



- ✓ 経理部門で50%以上のフルタイム従業員の削減
- ✓ 残高確認業務の40%をシェアードサービスへ移行
- ✓ 年間60万ドルの費用削減



Arigato-gozaimasu!